

小島陣屋の自慢

お城を愛する皆さんが「お城とっていいほどの石垣がある」と一目置いているのが、この小島陣屋跡です。

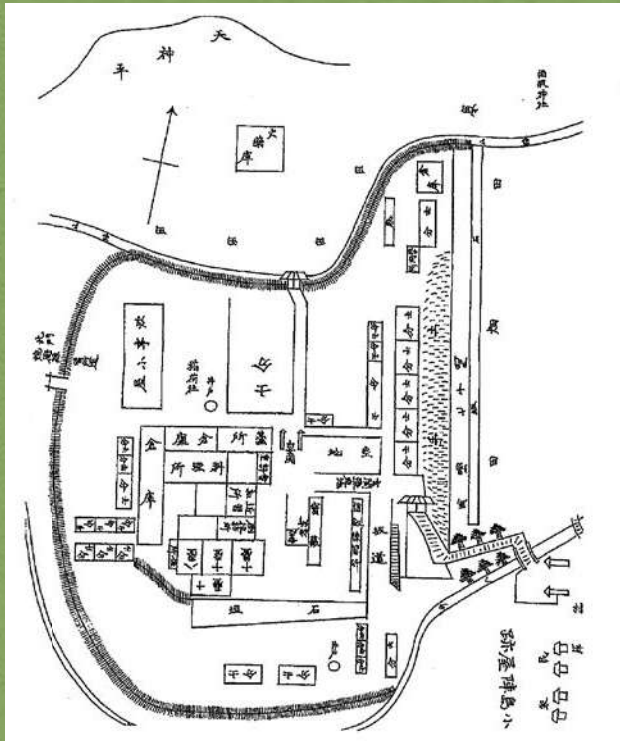
御殿建物の一部である書院も、長い年月を経て、姿や場所を変えて、それでも残ってきました。

小島陣屋跡は、静岡市が誇る自慢の史跡です。

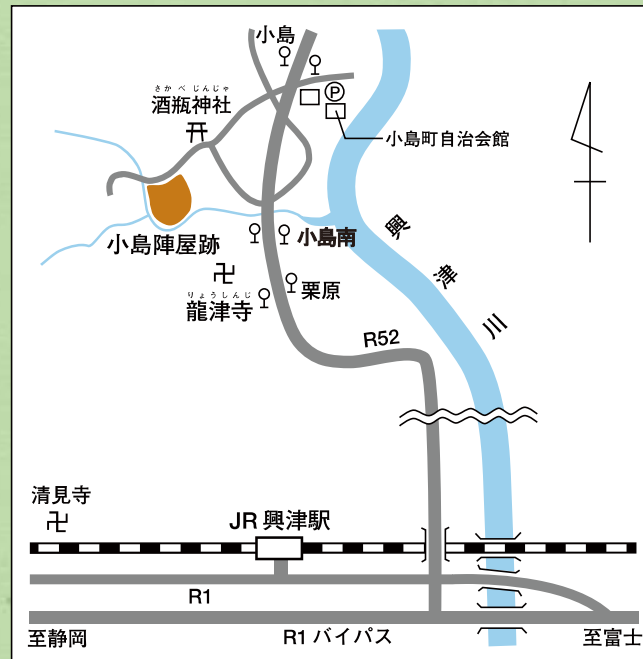
聞くだけではその良さは分かりづらいかもしれませんが、ドライブついでに寄って、実際に魅力を感じてみませんか？



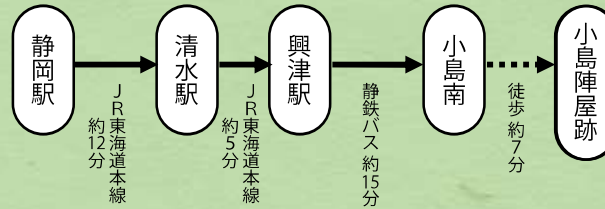
ご案内しましょう。
陣屋とは、
そして小島陣屋跡の魅力を。



旧小島藩士が大正時代初め頃に描いた小島陣屋全体図
(出典:『小島村誌』大正2年)



交通のご案内 ■駐車場 5台まで(令和6年時点)



ご利用案内

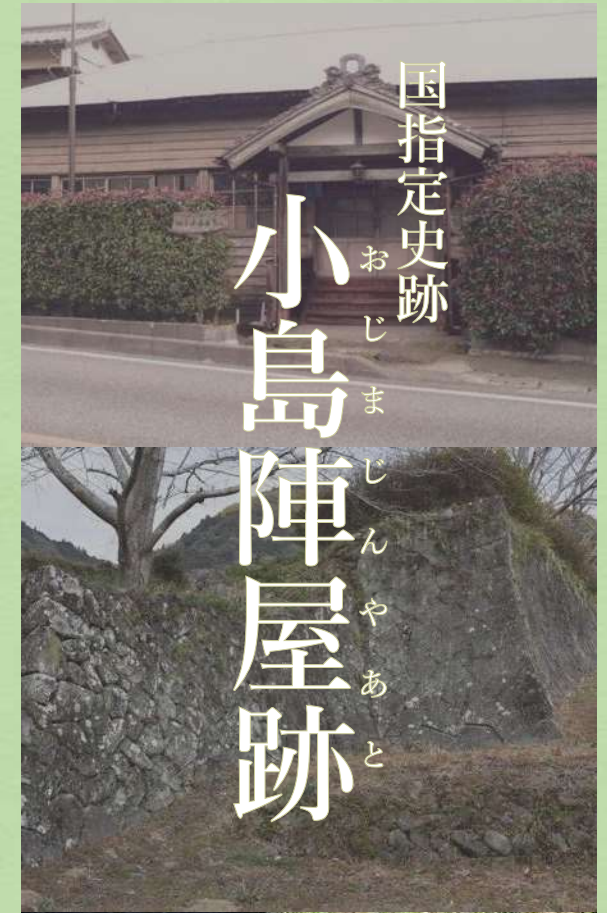
- 見学は無料です。
- 敷地内は火気厳禁です。
- 御殿の書院は、令和6年度にかけて小島陣屋跡へ移築復原工事中ですので、しばらくの間見学できません。
- 藩主墓所は龍津寺境内地内ですので、拝観のマナーを守ってお参りください。
- 出土遺物は、静岡市埋蔵文化財センターで一部公開しています。

問い合わせ先

- 静岡市 観光交流文化局 文化財課
〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号
TEL 054-221-1069
- 拈華山 龍津寺
TEL 054-393-3028

編集・発行 静岡市観光交流文化局文化財課
発行日 令和6年3月31日

江戸時代を探しに行こう。



静岡市

名称	史跡小島陣屋跡
所在地	静岡県清水区小島本町・小島町地内
史跡指定	平成18年(2006)7月28日
指定面積	19,243.54㎡

陣屋って？

陣屋は様々な意味を持ちますが、小島陣屋は大名陣屋と呼ばれるものです。大名陣屋とは、城を持つことが許されなかった大名（無城主大名）が住んだ場所を指します。

明治維新の段階で陣屋を構えていた無城主大名は98家あり、小島藩主・瀧脇松平氏もその中の一つです。無城主大名の陣屋は居住地（屋敷）としての機能が主であり、通常は石垣や堀などの軍事的な機能を持たないものがほとんどでした。

見どころマップ等の情報は
こちらから！

国指定史跡 小島陣屋跡

小島陣屋は江戸時代の小島藩藩主・瀧脇松平氏が政治と生活をした場所で、宝永元年(1704)から明治維新まで164年間続きました。発掘調査では土蔵建物跡や石段、排水路も発見されています。最大の特徴として挙げられるのは、高石垣を用いた城郭風の構造です。江戸時代中期における大名陣屋の在り方と構造を知るうえで貴重であることから、平成18年に国の史跡に指定されました。

～ここ見て！小島陣屋の魅力～

書院とは、一般的に武家が儀式や来客の応対などに用いた座敷を指します。

まるでお城?!

現存する”御殿の書院”

●駿河国の主な大名・代官の石高(給料)・比較

	小島藩(瀧脇松平氏)	田中藩(本多氏)	幕府直轄地(駿府城代)
石高	一万石(譜代大名)	四万石(譜代大名)	二千石(大身旗本)
居住地	小島陣屋(陣屋)	田中城(城郭)	駿府城(城郭)
(現在の所在地)	(静岡市清水区小島町)	(藤枝市田中一丁目)	(静岡市葵区駿府城公園)
勝手に拠点の修理が可能か	できる (幕府に届出不要)	できない (幕府に届出が必要)	できない (幕府の事業として実施)



小島陣屋跡は3段の曲輪を持ち、まるで小さな城郭のような造りをしています。



メインルートとなる大手道の脇通路は、城郭と同様、外敵が侵入しにくい構造になっています(樹形虎口)。



静岡市指定有形文化財 小島藩御殿建物

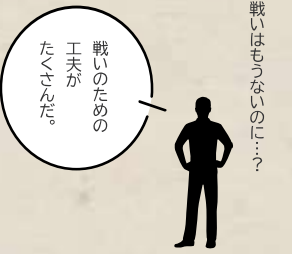
小島陣屋にかつてあった御殿の建物のうち、書院部分が現存しています。この書院は大藩の御殿の書院、広間、中奥を一体化した建物と考えられ、小島の陣屋の御殿建築の状況を知る上で貴重な建物です。

小島藩の略史

小島藩を立藩した松平氏は、三河十八松平の一家、瀧脇松平乗清を祖とします。乗清の5代末といわれる正勝は、徳川家康の御書院番として仕えた旗本で、次代重信が駿府城代へと出世し、その次の信孝の時に1万石の大名になりました。信孝を継いだ信治の時、所領が安倍、有度、庵原の3郡にまとめられたこともあり、宝永元年(1704)、駿河国庵原郡小島に陣屋を構えました。以来164年間、小島で藩政を行いましたが、明治元年(1868)に上総国桜井藩(現：千葉県木更津市)へ転封(配置替え)となりました。



大手道沿いには、高さ4mの見事な高石垣が築かれています。



時代で変わる石垣の特徴

小島陣屋跡にある石垣は、石の加工方法や積み方が異なるものがあります。これは、陣屋が造られた時代、安政の大地震後、明治時代以降と、異なる時代に積み直されたためです。陣屋が造られてから様々な人の手で改修が行われ、現在まで石垣が引き継がれたことが実感できます。ちなみに、石垣の石材には別当沢という近くの川で採れる砂岩が主に使われています。



主郭南西部 (切込接ぎ・乱積み)



樹形虎口 (打込接ぎ・乱積み)

歴代藩主

十	九	八	七	六	五	四	三	二	一	姓名	生没年
松平信敏	松平信書	松平信進	松平信賢	松平信友	松平信圭	松平信義	松平昌信	松平信吉	松平信治	延宝元～享保九	(1685)～(1770)
(1770)～(1800)	(1800)～(1810)	(1810)～(1820)	(1820)～(1830)	(1830)～(1840)	(1840)～(1850)	(1850)～(1860)	(1860)～(1868)	(1868)～(1868)	(1868)～(1868)		



▲3代藩主・昌信墓所 (龍津寺境内)

※歴代藩主の墓所はほとんどが東京都台東区の英信寺にあります。白隠禅師に深く帰依した3代藩主・昌信のみ、小島陣屋跡近くの龍津寺に墓所があります。

1868年の小島藩転封後色々ありました...

小学校の校長室時代

明治元年(1868)の小島藩転封後は、小学校(包蒙舎)として利用されました。建物は改修・増築されましたが、書院は校長室として使われました。



「清水市立小島小学校 創立百周年記念誌(1976)」より

小島陣屋から移築!

地元の公会堂時代

昭和3年(1928)の小学校移転に伴い建物のほとんどは取り壊されましたが、書院は国道沿いに移築され公会堂として地域の人々に愛されました。



約100年ぶりに

小島陣屋に帰ってきた!

令和4年度(2022)から、小島陣屋跡の整備事業として、陣屋内の元々の位置に移築し、江戸時代の姿へ復元します。

